

新年のご挨拶

「交流」～新しい時代に向けて～

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、時代が「平成」から「令和」へと移り変わる中、12月には上越地域待望の謙信公武道館が開館し、また、上信越自動車道の全線四車線化が完了するなど、活況を呈す「高田公園オーレンプラザ」「うみがたり」に加え、当市の「交流」の機会は大きく広がりました。

本年は、7月に東京2020オリンピックが、8月にはパラリンピックが開催されます。謙信公武道館では市がホストタウンとなっているドイツのパラリンピック柔道チームが、今月26日にオープン予定の上越体操場「ジムリーナ」ではオリンピック体操チームが事前合宿を行うことになっており、また、文化の面では今秋「小林古径記念美術館」が開館するなど、さらに「交流」の機会が広がります。

私たちの先人は、これまで様々な「交流」を通じて多くのものを外から受け入れ、このまちの歴史を紡ぎ、現在の発展を築いてきました。

市民の皆様には、どうか本年、市の内外で「交流」の輪を広げ、お一人お一人が持つ知恵と力、思いを重ね合わせ、共に豊かさを実感し、暮らすことのできる「すこやかなまち」づくりを加速させていただきたいと願っています。

この年が、市民の皆様にとりまして、健やかで幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



上越市長
村山 秀幸

撮影場所：牧区「大月の棚田」